（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名　放課後クラブ　ビッグイド

公表日　2024年　2月　10日

		チェック項目	はい	どちらでもない	こどもとご家族	職員や組織としての課題
関係性・環境・体制	1	利用定員が放課後支援時間のスペースとの関係で適切であるか。	5			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			
	3	全体的環境は、こどもにわかりやすく明確な工夫がされた環境になっているか。また、感染症の感染防止、熱中症の予防に努め、バリアフリーなど快適な活動、安全上の配慮が適切になされているか。	5			一部、改修が必要であるが、手すりを設置した。
	4	全体的環境は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども自身の成長に合わせた空間となっているか。	5			
	5	必要に応じて、こどもが個別の活動や場所を活用することが図られる環境になっているか。	5			
適切な支援の提供	6	適切な支援を進めるためのPDCAサイクル（計画作成と振り返り）に、よく職員が参画しているか。	4	1		
	7	保護者等が評価面により、放課後等デイサービスを活用する場合を設けて当り、その内容を事業所内に公開されているか。	5			
	8	保護者の意見等を把握する場合を設けており、その内容を事業所内に公開されているか。	5			
	9	地元団体による外部評価を行い、評価結果を事業所内に公開されているか。	2	3	アドバイスを受けながら、自治会活動を行なっている。	高齢者会の組織
	10	職員の資質の向上を図るために、研修や実践する場合や個人内容の研修を実施する機会が確保されているか。	5		放課後児童支援員、2級研修（専門性）、他の研修は、職員の資質向上のために参加に努めている。	
子どもの成長に関する支援	11	基本に支援プログラムが作成、公開されているか。	5		ホームページ、インスタグラムで公開している。	
	12	様々なこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を適切に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成されているか。	5			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際に、児童相談所が関係機関を招集だけでなく、こどもの支援に関する職員が共通認識の下で、こどもの意向の内容を明確化し支援が行われているか。	5		面談にしていない。個別面談から利用者を見てもらいたいと、思っている。色々な意見が出る。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの現在行動の状況を、観察化されたチームを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察及び保護者のインフォーマルなアセスメントを活用する様により明確している。	4	1		
適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画に沿、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「地域支援」、「関係機関との連携」の中から選び内容を考え支援内容を考え支援を行なう。こどもの支援に必要な情報が職員に共有され、そのうえで、具体的な支援内容が確定されている。	3	2		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19	こどもの状況に応じて、保護者と共通認識を確認様子を通じ合いながら放課後等デイサービス計画を作成し、実施が行われているか。	3	2	会議に参加出来ない方が、保護者支援が弱い方もいるので、個別で話している。	
	20	支援開始前には関係者が打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		必ず、会議のないように打合せを行ない、後で支援するようにしている。	
	21	支援終了後には、関係者による打合せを行い、その日行われた支援内容の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		難しい支援の方法を工夫するように努めている。	
	22	日々の支援に対して関係者とあることを確認し、支援の妥当・適切になっているか。	5			
	23	支援内容をモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しが必要な時期に、適切な見直しを行っているか。	4	1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を意識組み合わせて支援を行っているか。	4	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援に工夫がされている事、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		本人の意向に沿うように自由に対応しています。	
関係機関との連携	26	学校や保育園等関係機関のサービス提供事業所や地域活動との連携に、そのことがの利益を よく理解している様子等している。	5		保育園及び学校等の訪問を行っているが、現状の連絡をおいたほうが良い。中学校、高校で行っている。中学、高校の訪問の記録のみ。学校、保育園に出向くも。	保育園及び学校等の訪問を行っているが、現状の連絡をおいたほうが良い。中学校、高校で行っている。中学、高校の訪問の記録のみ。学校、保育園に出向くも。
	27	地域の資源、機能（自治会や地域の福祉機関）、特徴等を、保護者・学校との関係性を通じて、支援を行う時間を設定している。	3	2		中々、難しい状況であるが、少しずつ、連絡を図っていく。
	28	学校との関係は、（中学校行事・行事）や学校の状況、こどもの下学時の様子、放課後児童（放課後の様子、トラブル発生等の連絡）を密に行っている。	5		共有LINEを使って、保護者から、学校の様子や相談、又は状態、保護者からの連絡を図っている。	共有LINEを使って、保護者から、学校の様子や相談、又は状態、保護者からの連絡を図っている。
	29	医学面に関係していく保護者や地域関、関係こども園、児童相談関係機関との様子情報共有と相互連絡に努めている。	5		小学校にて、保護者会議を行ない、保護者の連絡で、保護者・学校・担任先生と放課後等デイサービスで情報の共有を図っている。	小学校にて、保護者会議を行ない、保護者の連絡で、保護者・学校・担任先生と放課後等デイサービスで情報の共有を図っている。
	30	学校を中心、放課後等デイサービスから学校等訪問サービス事業所等へ訪行する場合、それまでの支援内容関係者の連絡を図っている。	5		特別支援学校を連絡している。	特別支援学校を連絡している。
	31	地域の児童福祉支援センターとの連絡を図り、必要時に応じてスーパーバイズや相談や地域を使う様子を図っている。	4	1	訪問相談を年間2回入っている。毎月1回、10：00～21：00　訪問が行なわれている。	訪問相談を年間2回入っている。毎年1回　10：00～21：00　訪問が行なわれている。
	32	放課後等児童クラブや児童館との交流や、地域の集のこどもと共存する様子が見られるか。	0	5	保育園との関係、大切と思っている。放課後との関係は行っておらず、児童クラブ等との交流には至っていない。	
	33	（保育支援）放課後等デイ関係に参加している。	3	2		
	34	日々からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や成長について共通理解を図っている。	5		連絡帳、面談で伝えたいことや日々の様子を伝えることが多い。保護者の時間の都合合わせ時間で、年間で、面談2回、1回は必ず1回面談をおこなっている。	連絡帳、面談で伝えたいことや日々の様子を伝えることが多い。保護者の時間の都合合わせ時間で、年間で、面談2回、1回は必ず1回面談をおこなっている。
	35	放課後の対応力の向上を図る為から、学校に対して放課後支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や放課後の事業所である様子の提供や情報連絡を行っている。	5		保護からの相談と、保護者の参加出来る時間を調整内に配慮しています。	保護からの相談と、保護者の参加出来る時間を調整内に配慮しています。
家族への支援	36	放課後等児童、放課プログラム、利用者満足度について了承は事業を行っているか。	2	3	放課プログラムに関しては、満足度調査はしておりません。	しっかりと、実施出来ています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する時には、こどもや保護者の意向や要望、こどもの参加の時間の設定や提供の提案を提案し、こどもや家族の意向を反映する様子を図っているか。	5		子ども・保護者の意向に沿うように図っています。	もうすぐ、工夫が必要と感じています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		会話を理解できるように工夫しています。	
	39	学校等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、関係や各機関と連絡を行っているか。	5		時間は設けてますが、どうしても、保護者の仕事の都合で時間内に合わせています。	
	40	入所者の生活を支援することや、保護者参加を調整する様により、保護者自身で支援する場合を設ける様の支援をしている事。また、まようとい時とを保護する様時を設ける様の支援をしている。	3	2	保護者会や参観日を設けましたが、参加される保護者は１名のみです。参観プ出ないで、聞くすが多いらしく、協力して下さる人は参加者を工夫して提案してもらう。	保護者会や参観日を設けましたが、参加される保護者は１名のみです。参観プ出ないで、聞くすが多いらしく、協力して下さる人は参加者を工夫して提案してもらう。
地域支援	41	こどもや保護者からの相談について、相談の時間を設定することに、こどもや保護者に配慮し、時間が短うと感じに思ないように対応しているか。	5			
	42	支援内容の説明を行うことや、HPやSNS等を活用することによって、放課後等デイ等を、放課後等児童のこどもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分配慮しているか。	5		インスタグラム、パソコンや携帯電話の取扱い、見分をなされています。他に、パソコンはセキュリティー ウイルス対策 図っています。	
	44	学習のあることや保護者との相談の機会や学校生活のための応合をしているか。	5			
	45	学校等の学校に当日生活を保護する様、相談に出かけた学校訪問を行っているか。	3	2		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を設定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1		
	47	事故報告書（ヒヤリ）を活用するとともに、非常事態の発生に備えた対策に努め、職員・保護者等に周知している。	1	4	事故報告書を設定していないので、設定して、作成していきたい。	事故を生かせるように、良いものを設定したい。
	48	感染に、流行や予防接種、てんかん人数等やこどもの状況を把握しているか。	5		利用者中心に感染やアレルギー食物、花粉アレルギーなど、把握している。	今後とも利用者中心の情報を把握していく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行っているか。	3		１名だけだ、指示書書いている。	
	50	安全対策を内容し、安全管理に必要な時間や時間、その他必要な設備を設しる事、安全管理が十分されたなかで支援が行われているか。	5		行事時で現在で利用する場所、施設は安全に配慮に安全管理を把握している。	
	51	こどもの安全確保に関して、保護者とのお話が聞けるような　安全計画に基づく指導内容について、保護者へ周知している事。	3	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた対策について検討をしている。	3		年一人２件ほどと感染に対策している。個別時間がうそうな事故に、再発防止し、職員間で共有している。	これからも、徹底していく。
	53	感染を防止するとか　職員の非常時対応を確保する事、臨時より対応をしている。	3		室内換気で、行ない、現状感染予防は2022年度目標　2023年度目標、2025年度目標で実施した。	
	54	このような場合にやりたくなる事故対応をやりたくて、職員内にまず、こどもや保護者に事故に十分に説明し了承を得た上で、放課後等デイサービスを提供している。	1			